

1. 遺跡名 小田原城跡八幡山遺構群  
(おだわらじょうせきはちまんやまいこうぐ ん)
2. 所在地 小田原市城山
3. 時代 縄文時代・弥生時代～古墳時代・中世・近世
4. 調査概要

財団法人かながわ考古学財団では、県立小田原高等学校校舎建替工事に伴い、教育局教育財務課の依頼を受け 2005 年 8 月～12 月に小田原城跡八幡山遺構群の発掘調査を実施しました。

八幡山遺構群には大森氏から北条氏の主郭である八幡山古郭の本曲輪、西曲輪、南曲輪、藤原平などがありますが、今回の本発掘調査区は小田原高等学校グラウンド東端部と部室棟に位置し、江戸期の伝承地名「藤原平」にあたります。高校のグラウンド敷地内にはこれまで 2 度の発掘調査が行われています。現在の体育館建設に伴う第 1 次調査（1980 年 4 月）では、八幡山大堀切と西曲輪西堀の一部、古墳時代の竪穴住居 1 軒などが発見されました。続くグラウンド全面を対象に実施した第 2 次調査（2002 年 1～9 月）では、中世～近世の石組井戸や堀（南入堀・八幡山大堀切・藤原平南堀・西曲輪西堀の一部）、古墳時代前期の竪穴住居 9 軒と掘立柱建物 1 棟、縄文時代草創期～中期の集石・埋設土器・石器などが発見されています。

今回の調査でも西曲輪西堀の一部、方形土坑、ツブテ状礫の集積、地業面などの中世遺構が検出されました。その他、弥生～古墳時代の竪穴住居 28 軒などが発見されたり、縄文時代草創期の石器、早期のスベリ面や押型文土器などが発見されました

主な検出遺構

○城郭関連遺構

藤原平西曲輪西堀、ツブテ状礫集積、方形土坑 集石土坑、地業面

○その他の遺構等

弥生～古墳時代の竪穴住居跡 28 軒

縄文時代早期を中心とした遺物包含層

発掘期間中、11 月 19 日（土）に現地見学会を開催しました。



遺跡の位置



ツブテ状礫の集積



方形土坑